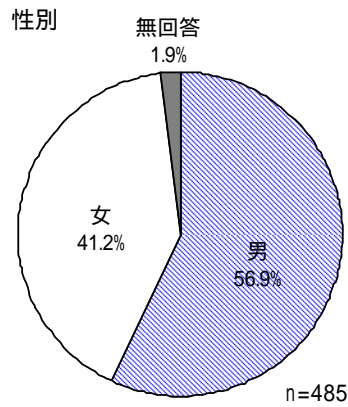


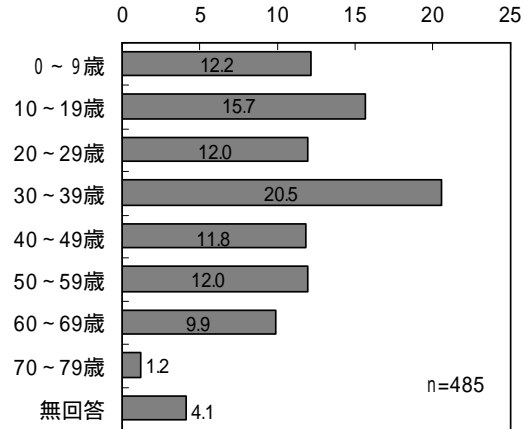
2 知的障害者調査分析結果

基本属性について

性別、年齢



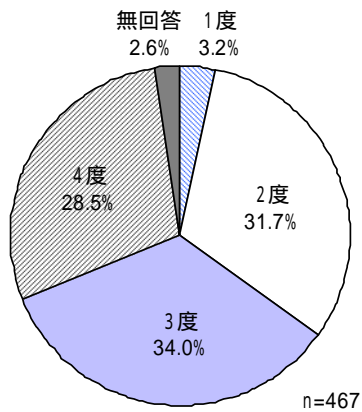
年齢別



対象者の性別は、男性が56.9%、女性が41.2%でやや男性が多かった。
年齢別で見ると、30代が20.5%、次いで10代が15.7%、10歳未満、20代、40代から60代までは10%前後であった。

障害程度

障害の程度

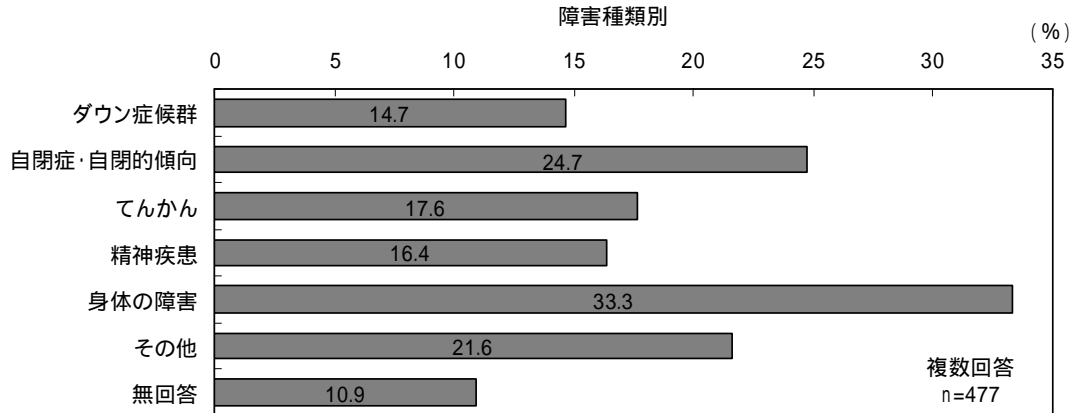


	全体 (人)	身体障害者手帳の程度 (%)							
		1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答	
		重度		中度		軽度			
合計	94	38.4	25.5	11.7	10.6	5.3	5.3	3.2	
障害の程度	1度	10	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2度	33	42.5	24.2	21.2	3.0	6.1	3.0	0.0
	3度	32	25.0	31.2	12.5	18.8	3.1	6.3	3.1
	4度	15	20.0	26.7	0.0	20.0	13.3	13.3	6.7
	無回答	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0

障害の程度では、「2度」、「3度」、「4度」の障害が約3割とほぼ同数で、「1度」は3.2%であった。

知的障害と身体障害との重複については、回答者の約2割以上を占めている。

障害部位



知的障害以外の障害では、「身体障害」が 33.3%、次いで「自閉症・自閉的傾向」が 24.7% となっている。

障害発生年齢

	全体 (人)	障害が発生した年齢 (%)										無回答
		0歳	1~4歳	5~9歳	10~19歳	20~39歳	40~59歳	60~64歳	66~69歳	70~74歳	75歳以上	
合計	485	44.0	33.6	5.8	4.9	1.9	1.6	0.2	0.2	0.0	0.0	7.8
障害の種類												
ダウン症候群	70	97.2	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
自閉症・自閉的傾向	118	28.8	59.5	5.1	2.5	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	2.5
てんかん	84	41.7	34.5	7.1	7.1	2.4	1.2	0.0	1.2	0.0	0.0	4.8
精神疾患	78	34.6	30.8	10.3	5.1	6.4	3.8	0.0	1.3	0.0	0.0	7.7
身体の障害	159	55.2	25.2	6.9	3.8	1.3	1.3	0.6	0.0	0.0	0.0	5.7
その他	103	35.9	36.9	7.8	5.8	1.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	10.7
無回答	52	19.2	30.8	7.7	13.5	3.8	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1

障害が発生した年齢をみると、4歳までの発生率が高かった。

同居者

	全体 (人)	同居者 複数回答 (%)								
		配偶者	子ども	孫	父母	配偶者の父母	兄弟姉妹	祖父母	その他	同居家族はいない
合計	485	1.2	0.8	0.0	59.8	0.8	32.2	4.1	31.8	6.4
年齢別										
0~9歳	59	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	72.9	6.8	0.0	0.0
10~19歳	76	0.0	0.0	0.0	96.1	0.0	60.5	13.2	3.9	0.0
20~29歳	58	0.0	0.0	0.0	70.7	0.0	32.8	3.4	27.6	6.9
30~39歳	100	4.0	3.0	0.0	58.0	2.0	14.0	4.0	36.0	3.0
40~49歳	57	0.0	0.0	0.0	54.4	0.0	10.5	0.0	42.1	8.8
50~59歳	58	1.7	0.0	0.0	17.2	1.7	12.1	0.0	69.0	12.1
60~69歳	48	0.0	0.0	0.0	10.4	0.0	31.3	0.0	50.0	18.8
70~79歳	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	66.7	16.7
80歳以上	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0
無回答	20	5.0	5.0	0.0	65.0	5.0	20.0	0.0	25.0	10.0

同居者については、0歳~49歳までは「父母」が最も高く、29歳までは「父母」、「兄弟姉妹」との同居も多い。30歳以上では「父母」との同居と合わせて「その他」の回答が多くなり、高齢者になるほどその割合は高くなっている。

住居について

現在の住まい

	全体 (人)	居住形態 (%)									
		あなたの持ち家	家族の持ち家	民間賃貸住宅	社宅等賃貸住宅	都営・公団等公営住宅	グループホーム	入所施設	その他	無回答	
合計	485	3.1	43.7	12.0	2.7	4.7	6.2	23.3	2.9	1.4	
年代別	0～18歳	130	0.0	63.1	23.8	7.7	3.1	0.0	1.5	0.0	0.8
	19～39歳	163	4.3	44.9	6.1	1.2	7.4	9.8	22.7	1.8	1.8
	40～64歳	149	4.7	28.9	7.4	0.0	3.4	8.7	39.5	5.4	2.0
	65歳以上	23	4.3	30.4	0.0	4.3	0.0	4.3	48.0	8.7	0.0
	無回答	20	0.0	35.0	30.0	0.0	10.0	0.0	20.0	5.0	0.0

現在の住まいについてたずねたところ、全体としては、「家族の持ち家」とする回答が多く、19歳以上では「入所施設などの福祉施設」とする回答も多くなり、65歳以上では約半数が入所施設などの福祉施設と回答している。

住居の問題点

	全体 (人)	住居の問題点								複数回答 (%)		
		手すりが ない	トイレや 浴室が居 室から離 れている	階段が急 である	段差が ある	廊下が 狭くて 車いすが 使え ない	部屋が 狭いなど の理由 により ベッドが 使えない	エレベ ーターが ない	住宅が老 朽化して いる	その他	無回答	
合計	114	12.3	15.8	20.2	13.2	8.8	20.2	9.6	21.1	43.0	1.8	
居住形態	あなたの持ち家	4	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	家族の持ち家	51	17.6	13.7	23.5	17.6	11.8	21.6	5.9	31.4	35.3	0.0
	民間賃貸住宅	21	14.3	9.5	38.1	9.5	4.8	14.3	19.0	9.5	38.1	9.5
	社宅等賃貸住宅	4	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	75.0	25.0	50.0	25.0	0.0
	都営・公団等公営住宅	6	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	83.3	0.0
	グループホーム	4	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	入所施設	22	9.1	18.2	0.0	9.1	4.5	18.2	9.1	13.6	72.7	0.0
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

住居の問題点をみると、あなたの持ち家、グループホームでは、「トイレや浴室が居室から離れている」が5割を占めている。また、民間賃貸住宅では、「階段が急である」が約4割となっている。

改善の際の問題点

	全体 (人)	住まいを改善する際の問題点						複数回答 (%)	
		家主や 他の住民 から同意 が得られ ない	家族の同 意が得ら れない	費用の都 合がつか ない	増改築な どが構 造的に無 理であ る	どこに相 談すべ いかわ からない	その他	困っている ことはない	無回答
合計	114	5.3	1.8	37.7	23.7	7.9	12.3	7.9	21.9
居住 形態	あなたの持ち家	4	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	家族の持ち家	51	2.0	3.9	51.0	35.3	5.9	7.8	9.8
	民間賃貸住宅	21	19.0	0.0	33.3	14.3	14.3	14.3	14.3
	社宅等賃貸住宅	4	25.0	0.0	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	都営・公団等公営住宅	6	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	16.7
	グループホーム	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0
	入所施設	22	0.0	0.0	22.7	4.5	0.0	27.3	13.6
	その他	1	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

改善の際の問題点は、持ち家、賃貸住宅等にかかわらず、「費用の都合がつかない」とする回答が多く、次に「増改築などが構造的に無理」が続いて多かった。

収入・年金について

収入源

	全体 (人)	あなた自身の収入								複数回答 (%)		
		自分で 働いて 得た収入	自分の 年金・ 手当や 恩給	自分の 預貯金 の利子 や株の 配当	自分の 不動産等 の財産 収入	自分の 預貯金を 下ろす	家族から の援助 (仕送り)	家族以外 からの 援助	その他	収入は ない	無回答	
合計	485	27.0	61.9	1.2	0.6	3.9	8.0	1.0	2.5	26.4	1.6	
年齢 別	0～9歳	59	0.0	8.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	89.8	0.0
	10～19歳	76	2.6	5.3	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	1.3	85.5	2.6
	20～29歳	58	44.8	86.2	1.7	0.0	0.0	10.3	0.0	0.0	0.0	1.7
	30～39歳	100	45.0	83.0	0.0	0.0	4.0	15.0	1.0	1.0	3.0	2.0
	40～49歳	57	40.4	77.2	1.8	3.5	10.5	7.0	1.8	1.8	5.3	1.8
	50～59歳	58	20.7	82.8	0.0	1.7	1.7	15.5	3.4	5.2	1.7	0.0
	60～69歳	48	25.0	85.4	8.3	0.0	14.6	6.3	0.0	10.4	2.1	2.1
	70～79歳	6	16.7	100.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
無回答	20	50.0	85.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	5.0	
障害 の 程度	合計	467	27.8	62.5	1.1	0.6	3.9	8.4	1.1	2.6	25.3	1.7
	1度	15	0.0	93.3	0.0	0.0	6.7	13.3	6.7	0.0	6.7	0.0
	2度	148	12.8	70.3	0.7	0.0	2.7	6.8	0.0	1.4	24.3	2.0
	3度	159	34.6	59.1	1.9	1.3	4.4	8.8	1.3	0.0	29.6	3.1
	4度	133	38.3	53.4	0.8	0.8	4.5	9.8	1.5	6.8	24.8	0.0
	無回答	12	41.7	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0

あなた自身の収入を年齢別に見ると、19歳以下では「収入はない」が約9割、20歳以上では「自分の年金・手当や恩給」との回答が最も多い。20～49歳では「自分の年金・手当や恩給」に次いで「自分で働いて得た収入」であった。障害の程度で収入をみると、最も障害の重い1度ではほとんどが「自分の年金・手当や恩給」と回答し、障害の程度が軽いほど低くなり、3度、4度では「自分で働いて得た収入」の割合が高くなっている。

	全体 (人)	あなたを含めた家族全体の収入							複数回答 (%)		
		働いて 得た収入	年金・ 手当や 恩給	預貯金の 利子や 株の配当	不動産等 の財産 収入	預貯金を 下ろす	家族から の援助 (仕送り)	家族以外 からの 援助	その他	無回答	
年齢別	合計	360	71.9	57.5	4.2	7.2	15.0	12.2	1.4	1.4	2.8
	0～9歳	59	88.1	16.9	0.0	1.7	8.5	5.1	1.7	1.7	1.7
	10～19歳	76	89.5	18.4	1.3	2.6	7.9	5.3	1.3	2.6	6.6
	20～29歳	51	84.3	80.4	7.8	9.8	19.6	13.7	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	78	62.8	80.8	5.1	7.7	15.4	19.2	2.6	2.6	2.6
	40～49歳	37	45.9	89.2	2.7	8.1	21.6	10.8	0.0	0.0	2.7
	50～59歳	22	31.8	81.8	0.0	22.7	31.8	22.7	4.5	0.0	0.0
	60～69歳	18	38.9	72.2	27.8	22.2	27.8	16.7	0.0	0.0	5.6
	70～79歳	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	17	88.2	76.5	0.0	0.0	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0
障害の程度	合計	343	71.9	57.5	4.2	7.2	15.0	12.2	1.4	1.4	2.8
	1度	10	50.0	80.0	0.0	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	0.0
	2度	107	65.4	65.4	2.8	7.5	15.9	10.3	0.0	0.9	0.9
	3度	127	80.3	55.9	5.5	7.1	12.6	12.6	2.4	2.4	3.1
	4度	96	70.8	54.2	4.2	5.2	16.7	14.6	0.0	0.0	4.2
	無回答	3	66.7	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0

家族全体の収入をみると、19歳以下では約9割が「働いて得た収入」と回答し、20代では「働いて得た収入」と「年金・手当や恩給」がほぼ同率を示し、30代以上では「年金・手当や恩給」が「働いて得た収入」を上回る結果となっている。

障害年金の受給状況

	全体 (人)	障害を事由とする年金の受給 (%)				
		受給して いる	受給して いない	わから ない	無回答	
合計	467	61.0	33.0	1.9	4.1	
障害の程度	1度	15	93.3	6.7	0.0	0.0
	2度	148	67.5	29.1	1.4	2.0
	3度	159	61.0	33.3	0.0	5.7
	4度	133	48.8	41.4	4.5	5.3
	無回答	12	75.0	16.7	8.3	0.0

障害の程度による年金の受給状況は障害が重いほど年金を「受給している」割合が高く、1度の障害では9割以上の方が障害年金を受給している。

就労の状況について
就労状況

	全体 (人)	就労の有無 (%)			
		働いて いる	働いて いない	無回答	
合計	467	31.0	67.1	1.9	
障害の 程度	1度	15	0.0	93.3	6.7
	2度	148	16.2	81.8	2.0
	3度	159	39.0	59.1	1.9
	4度	133	40.6	57.9	1.5
	無回答	12	41.7	58.3	0.0

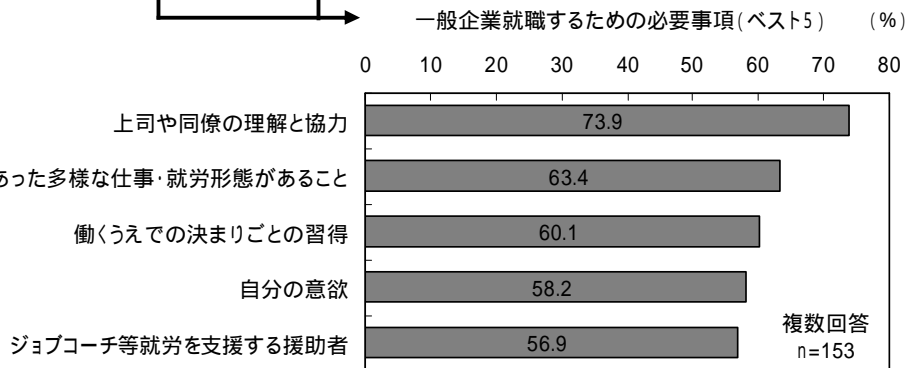
就労については障害の程度が重いほど就労はしていない。1度の障害では9割、2度では8割が働いていない。しかし、逆に3度、4度と障害の程度が軽くなるほど「働いている」人の割合が高くなり4度では約4割の人が働いている。

一般企業への就労希望

	全体 (人)	一般企業への就労希望の有無 (%)				
		希望する	希望 しない	現在一般 企業で働 いている	無回答	
合計	485	23.9	53.2	7.6	15.3	
回答者	あなた本人が回答	42	33.3	33.3	31.0	2.4
	家族・親族の方が本人と協力して回答	86	33.7	44.2	17.4	4.7
	家族・親族の方が本人の気持ちを考えて回答	269	23.8	54.3	2.2	19.7
	その他	73	11.0	69.8	1.4	17.8
	無回答	15	6.7	60.0	13.3	20.0
年齢別	0～9歳	59	47.5	32.2	0.0	20.3
	10～19歳	76	56.6	28.9	0.0	14.5
	20～29歳	58	12.1	62.1	17.2	8.6
	30～39歳	100	17.0	63.0	12.0	8.0
	40～49歳	57	8.8	59.6	10.5	21.1
	50～59歳	58	12.1	63.8	6.9	17.2
	60～69歳	48	14.6	62.5	2.1	20.8
	70～79歳	6	0.0	83.3	0.0	16.7
	80歳以上	3	0.0	33.3	0.0	66.7
無回答	20	10.0	55.0	20.0	15.0	

回答者別による一般企業への就労の希望は本人の場合は「希望する」、「希望しない」は約3割と同率であり、「現在一般企業で働いている」との回答も3割であった。本人以外の家族・親族の回答は「希望しない」が約半数で「希望する」よりも高い割合となっている。

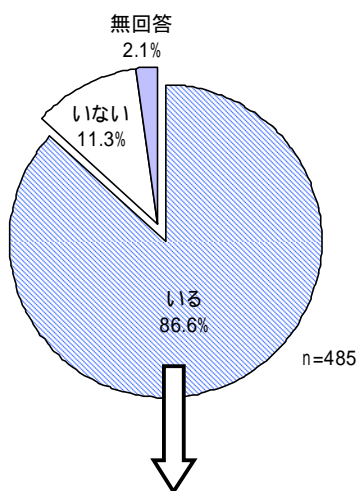
年齢別では、20歳以下は「希望する」が多いが20歳以上では「希望しない」との回答が約6割以上となっている。



一般企業に就労するために必要な条件のベスト5は、「上司や同僚の理解と協力」が最も多く次いで「障害特性にあった多様な仕事・就労形態があること」、「働くうえでの決まりごとの習得」、さらに「自分の意欲」、「ジョブコーチ等就労を支援する援助者」があげられている。

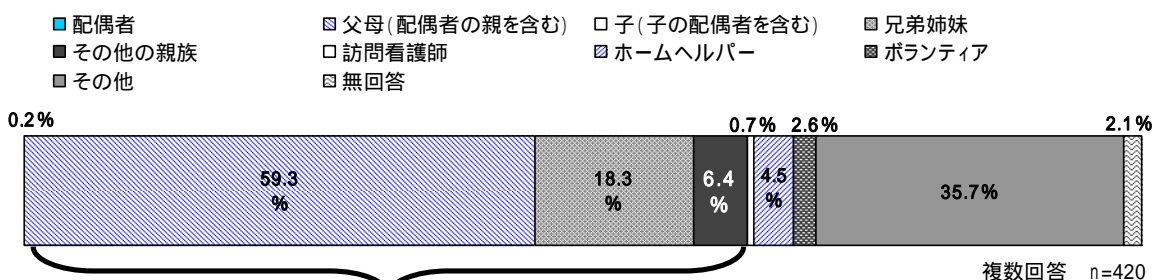
介護の状況について
介護人の状況

介護をしてくれる人の有無



介護をしてくれる人がいるかどうかでは「いる」と答えた人が8割を超え、「いない」と答えた人は1割であった。

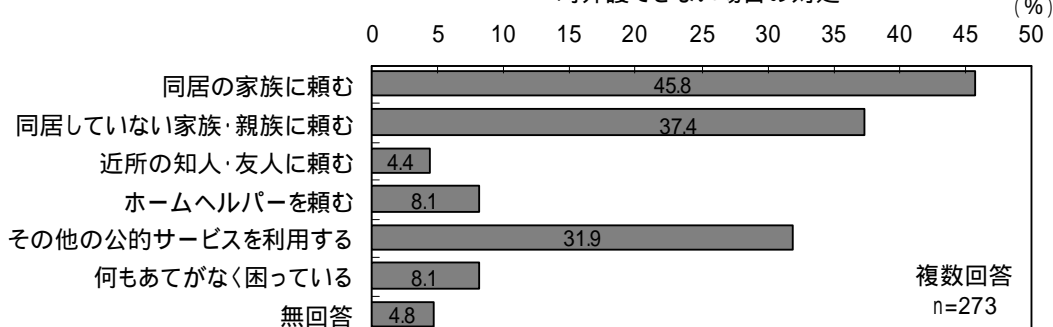
介護をしてくれる人



複数回答 n=420

介護をしてくれる人が「いる」と回答した人に介護人はだれかを聞いたところ、「父母」が最も多く、次いで「兄弟姉妹」、「その他の親族」、「ホームヘルパー」、「ボランティア」となっている。

一時介護できない場合の対処



複数回答
n=273

一時介護が出来ない場合の対処は、「同居の家族に頼む」が最も多く、次いで「同居していない家族・親族に頼む」となっており、ほぼ同率で「その他の公的サービスを利用する」となっている。

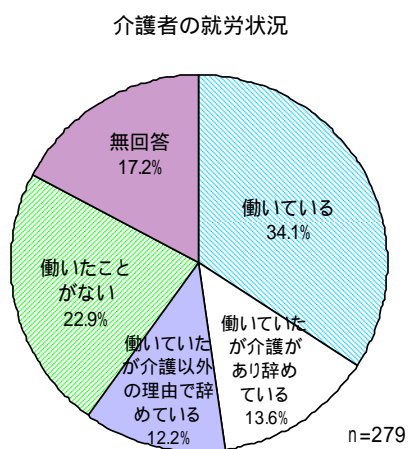
介護人の年齢、性別

	全体 (人)	介護者の性別 (%)			介護者の年齢別 (%)								
		男	女	無回答	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70~79 歳	80歳 以上	無回答	
合計	279	6.1	79.6	14.3	0.0	10.0	27.0	18.6	16.8	7.9	3.2	16.5	
年齢別	0~9歳	53	1.9	92.4	5.7	0.0	43.4	45.3	3.8	0.0	0.0	0.0	7.5
	10~19歳	65	3.1	90.7	6.2	0.0	6.2	66.1	20.0	0.0	0.0	0.0	7.7
	20~29歳	34	0.0	88.2	11.8	0.0	0.0	14.7	52.9	20.6	0.0	0.0	11.8
	30~39歳	51	7.8	68.7	23.5	0.0	0.0	2.0	21.6	43.1	7.8	0.0	25.5
	40~49歳	27	18.5	74.1	7.4	0.0	0.0	3.7	3.7	29.6	48.2	7.4	7.4
	50~59歳	14	7.1	64.3	28.6	0.0	0.0	7.1	14.3	14.3	7.1	28.6	28.6
	60~69歳	19	21.1	52.6	26.3	0.0	0.0	0.0	15.8	26.3	10.5	15.8	31.6
	70~79歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	無回答	14	0.0	57.1	42.9	0.0	7.1	0.0	14.3	14.3	7.1	0.0	57.2

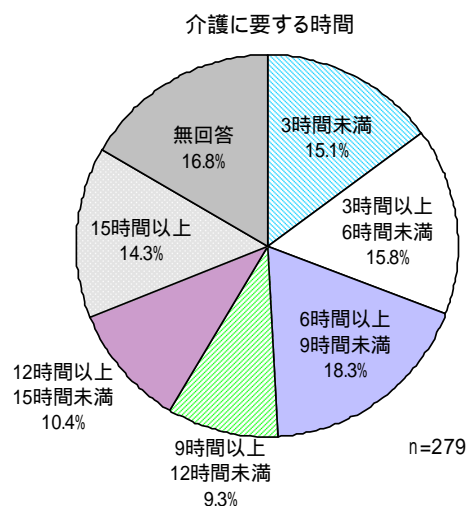
介護人の年齢をみると、20歳代で介護をしている人はいない。介護をされる側が10歳未満では介護人は30歳代、40歳代がそれぞれ半数を占めている。10~19歳になると、介護人は40歳代が約6割となり、20~29歳では介護人は50歳代が主となり介護をしている。総じて介護される側の年齢が高くなるにつれ、介護人の年齢もあがり高齢者が高齢者の介護をしている状況である。

また、介護人の性別をみると、年代を問わず女性が多い。

介護人の就労状況と介護の時間

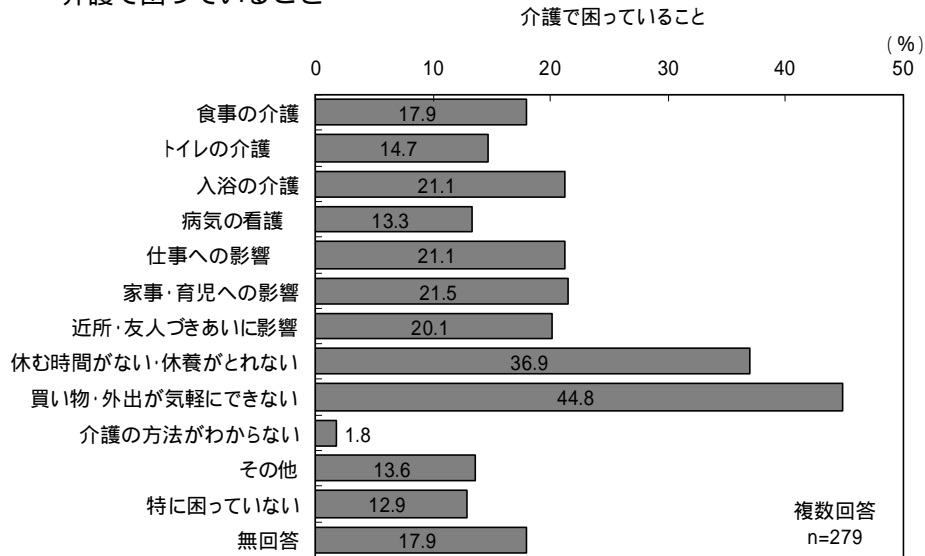


介護人の就労状況は、「働いている」が約34%、「働いていない」が約23%、「働いていたが介護が理由で辞めている」が約14%、「働いていたが介護があり辞めている」が約14%、「無回答」とする回答は約17%であった。



介護に要する時間は、「6時間以上9時間未満」が約18%、「3時間以上6時間未満」が約16%、「3時間未満」は約15%であった。「9時間以上」と「15時間未満」の介護は合わせて約20%、「15時間以上」は約14%であった。

介護で困っていること



介護で困っていることについては、「買い物・外出が気軽にできない」が最も多く、次いで「休む時間がない・休養がとれない」となっている。さらに、「家事・育児への影響」、「入浴の介護」、「近所・友人づきあいに影響」、「仕事への影響」の順となっている。また、「特に困っていない」との回答が12.9%であった。

介護の負担感

	全体 (人)	身体的負担感について (%)					精神的負担感について (%)					経済的負担感について (%)				
		とても 高い	高い	低い	感じ ない	無回 答	とても 高い	高い	低い	感じ ない	無回 答	とても 高い	高い	低い	感じ ない	無回 答
合計	279	16.8	37.7	16.5	7.9	21.1	33.3	35.2	10.4	3.2	17.9	16.8	30.1	21.5	7.9	23.7
障害の程度 1度	6	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7	33.4	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	33.3
2度	89	27.0	43.8	11.2	4.5	13.5	36.0	41.5	6.7	3.4	12.4	20.2	30.3	27.0	3.4	19.1
3度	108	13.0	35.1	16.7	8.3	26.9	25.9	34.4	12.0	4.6	23.1	13.9	27.8	16.7	12.0	29.6
4度	61	4.9	36.0	19.7	14.8	24.6	39.4	32.8	9.8	1.6	16.4	13.1	37.7	19.7	8.2	21.3
無回答	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0

介護の身体的負担感は、障害の程度が1度の場合は「とても高い」とする人が半数、「高い」とする人と合わせると8割が負担感が高いと回答している。障害の程度が軽くなっても負担感「高い」と回答する人が3割を超えている。

精神的負担感については、障害の程度が1度で「とても高い」が約3割、「低い」とする人が同率で3割であった。障害の程度2度では、「高い」、「とても高い」を合わせると約8割の人は精神的負担感が高いと回答した。障害程度が軽くなっても精神的負担が高いとする人の率は高い結果となっている。

経済的負担感、障害の程度が1度で「とても高い」が約3割、2度では「高い」が3割、負担感「低い」とする回答も約3割あった。障害の程度が軽くなっても負担感「高い」とする傾向がある。

	全体 (人)	身体的負担感について (%)					精神的負担感について (%)					経済的負担感について (%)					
		とても 高い	高い	低い	感じ ない	無回 答	とても 高い	高い	低い	感じ ない	無回 答	とても 高い	高い	低い	感じ ない	無回 答	
合計	279	16.8	37.7	16.5	7.9	21.1	33.3	35.2	10.4	3.2	17.9	16.8	30.1	21.5	7.9	23.7	
介護に要する時間	3時間未満	42	2.4	19.0	42.9	28.6	7.1	21.4	30.9	31.0	14.3	2.4	4.8	26.2	35.7	26.2	7.1
	3時間以上6時間未満	44	4.5	54.6	25.0	9.1	6.8	25.0	50.0	18.2	0.0	6.8	6.8	45.5	34.1	4.5	9.1
	6時間以上9時間未満	51	15.7	58.8	15.7	2.0	7.8	47.1	43.1	5.9	0.0	3.9	19.6	35.4	17.6	9.8	17.6
	9時間以上12時間未満	26	23.1	57.7	7.7	3.8	7.7	42.3	53.9	0.0	3.8	0.0	34.7	34.6	23.1	3.8	3.8
	12時間以上15時間未満	29	27.6	48.3	6.9	3.4	13.8	58.7	27.6	0.0	3.4	10.3	24.1	34.5	20.7	0.0	20.7
	15時間以上	40	55.0	32.5	7.5	2.5	2.5	50.0	37.5	10.0	0.0	2.5	37.5	35.0	17.5	2.5	7.5
	無回答	47	0.0	2.1	4.3	4.3	89.3	2.1	8.5	2.1	2.1	85.2	2.1	4.3	4.3	4.3	85.0

介護に要する時間と身体的負担感についてみると、「3時間未満」では「低い」、「感じない」とする回答を合わせると約7割で、3時間を超えると半数以上の方が負担感は「高い」と回答している。「15時間以上」では「とても高い」が5割強、「高い」とする回答と合わせると約9割の方が負担感が高いとしている。

精神的負担感については、介護に要する時間が「3時間未満」では「高い」が約3割、「低い」とする回答も3割であった。介護の時間が3時間以上になると「とても高い」、「高い」で約8割を超え、精神的負担感が高いと回答している。

経済的負担感は、「3時間未満」では「低い」とした回答が最も多く約36%、「感じない」とする回答が26.2%、「高い」も同率で26.2%であった。「3時間以上6時間未満」では「高い」が45.5%、「低い」は34.1%。「9時間以上」になると「とても高い」、「高い」とする回答が多い。

日中活動について

日中の活動場所

	全体 (人)	日中の今の過ごし方								複数回答 (%)	
		仕事を している	学校・保 育園・幼 稚園等に 通って いる	心身障害 者福祉施 設に通所 している	病院など に通院す ることが 多い	入院して いる	自宅にい ることが 多い	趣味・習 い事など に参加す ることが 多い	その他	無回答	
合計	485	17.5	25.2	26.4	3.9	0.8	21.2	4.1	24.1	2.9	
年代別	0～18歳	130	0.0	90.0	12.3	3.1	0.0	23.8	2.3	3.8	0.8
	19～39歳	163	30.1	1.8	39.9	3.1	0.0	21.5	6.7	23.9	3.7
	40～64歳	149	19.5	0.0	21.5	4.7	2.7	20.1	2.7	38.9	3.4
	65歳以上	23	4.3	0.0	30.4	8.7	0.0	17.4	8.7	52.2	4.3
	無回答	20	30.0	10.0	40.0	5.0	0.0	15.0	0.0	15.0	5.0

日中の活動場所を年代別にみると、18歳以下では「学校・保育園・幼稚園等に通っている」との回答が最も多く、次いで「自宅にいることが多い」となっている。19～39歳では、「心身障害者福祉施設に通所」が最も多く、次に、「仕事をしている」が続いている。65歳以上では、「心身障害者福祉施設に通所」が多くなっている。

今後の過ごし方

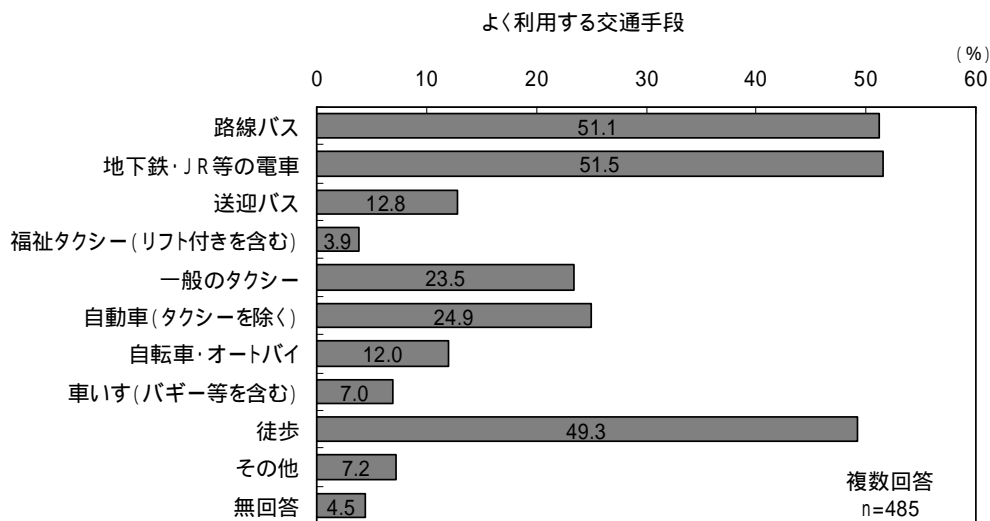
	全体 (人)	今後、日中活動として希望する場所 (%)								
		自宅で 過ごす	授産施設 に通所 する	更生施設 に通所 する	ディス サービス センター に通所 する	訓練施設 に通所 する	就職する	その他	無回答	
合計	485	9.9	16.5	7.4	6.0	5.4	15.9	19.4	19.5	
日中の 今の 過ごし方	仕事をしている	85	11.8	21.2	0.0	0.0	3.5	14.1	24.7	24.7
	学校・保育園・幼稚園等に通っている	122	4.9	11.5	7.4	4.1	7.4	40.9	12.3	11.5
	心身障害者福祉施設に通所している	128	3.9	35.9	18.0	14.8	7.0	4.7	9.4	6.3
	病院などに通院することが多い	19	5.3	15.8	0.0	15.8	15.8	10.5	15.8	21.0
	入院している	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0
	自宅にすることが多い	103	24.2	20.4	6.8	10.7	3.9	14.6	9.7	9.7
	趣味・習い事などに参加することが多い	20	0.0	15.0	5.0	0.0	15.0	35.0	15.0	15.0
	その他	117	7.7	4.3	2.6	1.7	6.0	5.1	42.7	29.9
	無回答	14	7.1	7.1	0.0	7.1	0.0	14.3	0.0	64.4
年齢別	0～9歳	59	5.1	8.5	1.7	8.5	11.9	28.7	23.7	11.9
	10～19歳	76	3.9	11.8	11.8	5.3	5.3	44.8	7.9	9.2
	20～29歳	58	8.6	19.0	12.1	12.1	8.6	8.6	8.6	22.4
	30～39歳	100	8.0	27.0	11.0	4.0	5.0	11.0	14.0	20.0
	40～49歳	57	7.0	19.3	5.3	7.0	5.3	5.3	28.0	22.8
	50～59歳	58	17.2	8.6	1.7	3.4	1.7	5.2	31.2	31.0
	60～69歳	48	27.1	8.3	4.2	6.3	0.0	2.1	33.2	18.8
	70～79歳	6	0.0	33.4	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
	80歳以上	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.4	0.0	33.3	33.3
	無回答	20	10.0	30.0	10.0	0.0	0.0	15.0	10.0	25.0

今後の過ごし方として日中の今の過ごし方別でみると、仕事をしている人は「授産施設に通所する」が最も多く、学校・幼稚園等に通っている人は「就職する」が一番にあげている。心身障害者施設に通所している人は、「授産施設に通所する」が多く、次いで「更生施設に通所する」となっている。病院等に通院することが多い人は、「授産施設に通所する」、「サービスセンターに通所する」、「訓練施設に通所する」をあげており、入院している人は「自宅で過ごす」をあげている。自宅にすることが多い人は、今後も「自宅で過ごす」が一番にあげており、次に「授産施設に通所する」としている。趣味・習い事に参加をしている人は、「就職する」が最も多い回答となっている。

年齢別で今後の過ごし方をみると、20歳未満は「就職する」が一番にあげ、20～39歳では、「授産施設に通所する」が多くなっている。50歳以上では「自宅で過ごす」が多くなっている。

外出時のことについて

外出時の交通手段



外出時の交通手段は、「路線バス」、「地下鉄・JR等の電車」、「徒歩」がほぼ同率で高く、次いで「自動車(タクシーを除く)」、「一般のタクシー」となっている。

外出時に困ること

	全体 (人)	外出する際に困る点													複数回答 (%)	
		歩道・道路、 出入口の 段差	階段の昇降	路上の 障害物	標識・標示 の案内がわ かりにくい	点字プロッ ク、盲人用 信号がない	手すりが ない	付き添って くれる人が いない	移動の手段 がない	障害者が使 えるトイレが 少ない	電車、バス、 タクシー等 の乗降	乗車券の購 入・料金の 支払いが 困難	その他	無回答		
合計	467	17.1	19.3	9.4	9.0	0.2	4.7	10.7	1.7	13.1	9.6	25.7	8.6	37.0		
障害の 程度	1度	15	26.7	26.7	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	26.7	20.0	20.0	13.3	40.0		
	2度	148	22.3	27.0	11.5	5.4	0.7	5.4	12.8	2.0	23.0	13.5	26.4	6.8	28.4	
	3度	159	13.8	20.1	8.2	11.3	0.0	5.7	13.2	1.3	11.9	7.5	37.7	10.1	28.3	
	4度	133	14.3	9.8	8.3	12.0	0.0	3.0	6.8	2.3	2.3	7.5	13.5	8.3	54.1	
	無回答	12	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	66.7	

障害の程度別では、1度から3度では「歩道、道路、出入口の段差」、「階段の昇降」、「障害者が使えるトイレが少ない」、「乗車券等の購入・料金の支払いが困難」、「電車バス、タクシー等の乗り降り」との回答があげられている。

相談について
相談する相手

	全体 (人)	困ったとき等の相談者																複数回答 (%)		
		家族・親族	友人・知人	勤務先の人	福祉、介護、保健所等の区の窓口	民生委員・児童委員	身体・知的障害者相談員	ホームヘルパー	障害者地域自立生活支援センター	病院・診療所のケースワーカー	施設の指導員・支援員	学校・保育園・幼稚園等の先生	スクールカウンセラー	ケアマネジャー	社会福祉協議会	障害者団体	その他	相談する人がいない	無回答	
合計	485	71.1	13.4	7.6	16.5	0.0	6.8	2.1	2.5	7.2	28.2	15.3	0.6	2.1	1.0	2.3	10.9	0.0	8.9	
年齢別	0～9歳	59	88.1	25.4	1.7	6.8	0.0	0.0	1.7	0.0	5.1	13.6	49.2	0.0	0.0	0.0	1.7	11.9	0.0	8.5
	10～19歳	76	88.2	18.4	0.0	14.5	0.0	1.3	3.9	1.3	9.2	5.3	53.9	2.6	1.3	1.3	5.3	5.3	0.0	5.3
	20～29歳	58	75.9	17.2	17.2	25.9	0.0	5.2	0.0	3.4	12.1	25.9	3.4	0.0	0.0	0.0	1.7	19.0	0.0	10.3
	30～39歳	100	69.0	13.0	12.0	19.0	0.0	14.0	0.0	4.0	6.0	33.0	2.0	0.0	1.0	2.0	3.0	11.0	0.0	9.0
	40～49歳	57	59.6	1.8	8.8	10.5	0.0	5.3	1.8	1.8	3.5	40.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	3.5	0.0	10.5
	50～59歳	58	69.0	5.2	6.9	17.2	0.0	12.1	3.4	3.4	6.9	44.8	0.0	1.7	6.9	1.7	1.7	13.8	0.0	10.3
	60～69歳	48	47.9	14.6	2.1	22.9	0.0	4.2	6.3	4.2	6.3	37.5	0.0	0.0	6.3	2.1	0.0	12.5	0.0	10.4
	70～79歳	6	33.3	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	80歳以上	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
無回答	20	65.0	10.0	15.0	10.0	0.0	15.0	0.0	0.0	15.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	

困ったとき等に相談する相手を年齢別でみると、一般的に「家族・親族」が多い。20歳未満では、次いで「学校・保育園・幼稚園等の先生」となっている。また、20歳以上では、家族・親族以外に「施設の指導員・支援員」が多くなり、次いで「福祉、介護、保健所等の区の窓口」となっている。

相談内容

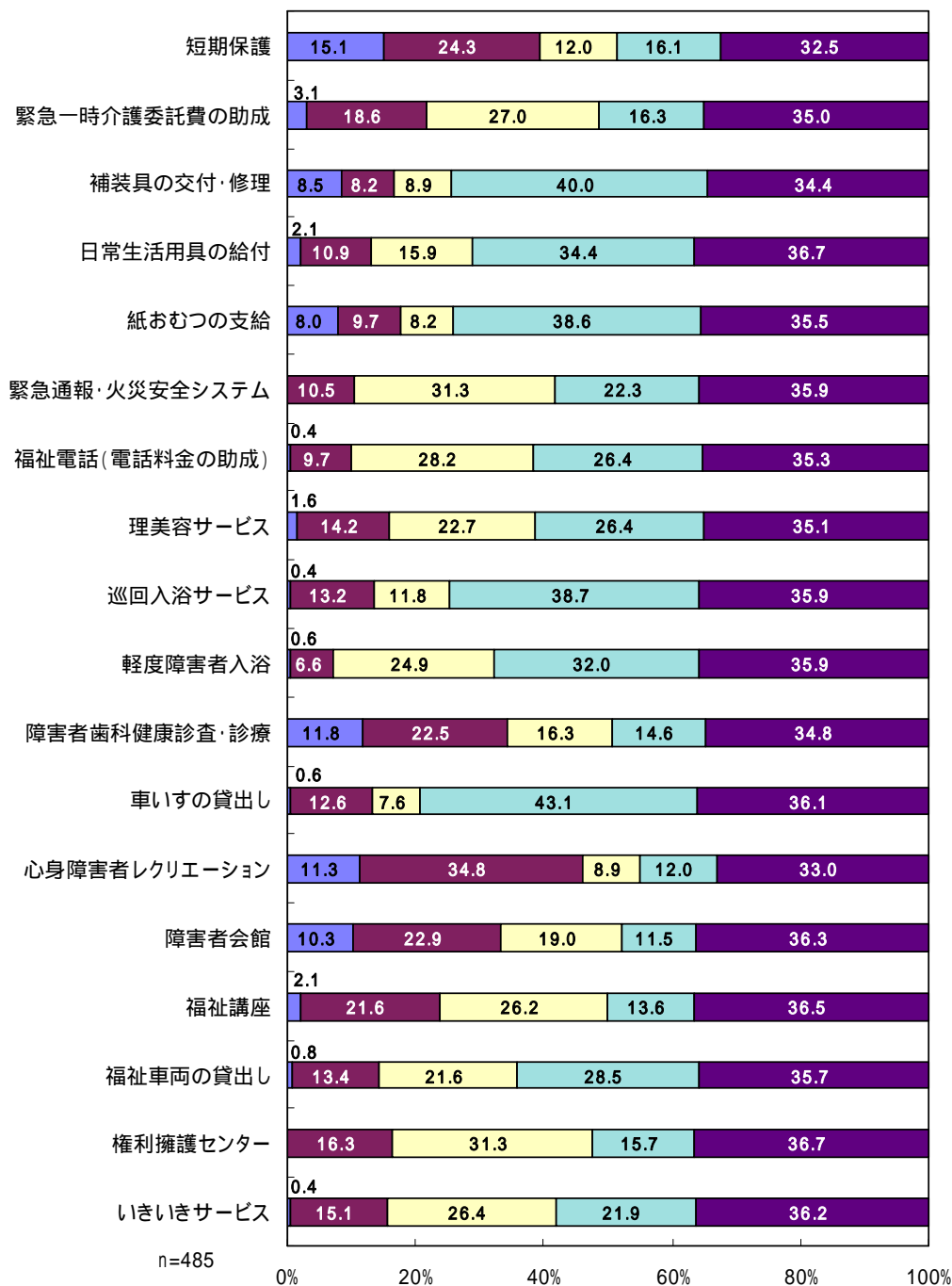
	全体 (人)	相談する内容								複数回答 (%)	
		病気や障害の状態について	通院する病院や診療所について	日常生活について	仕事について	地域や趣味の活動について	施設サービスについて	生活費や税金、年金などについて	財産の管理について	その他	無回答
合計	467	31.0	12.0	39.6	13.9	5.8	9.4	7.9	3.2	9.4	30.4
障害の程度	1度	15	26.7	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	2度	148	31.1	12.8	36.5	4.1	2.7	12.2	6.1	4.1	39.9
	3度	159	32.7	10.1	41.5	17.6	6.9	11.3	5.7	2.5	26.4
	4度	133	29.3	14.3	41.4	22.6	7.5	4.5	12.0	3.8	24.1
	無回答	12	33.3	16.7	33.3	8.3	16.7	16.7	25.0	0.0	25.0

相談する内容を障害の程度別でみると、障害の程度にかかわらず「日常生活について」が最も多く、次いで「病気や障害の状態について」となっている。

障害者福祉サービスについて

利用状況

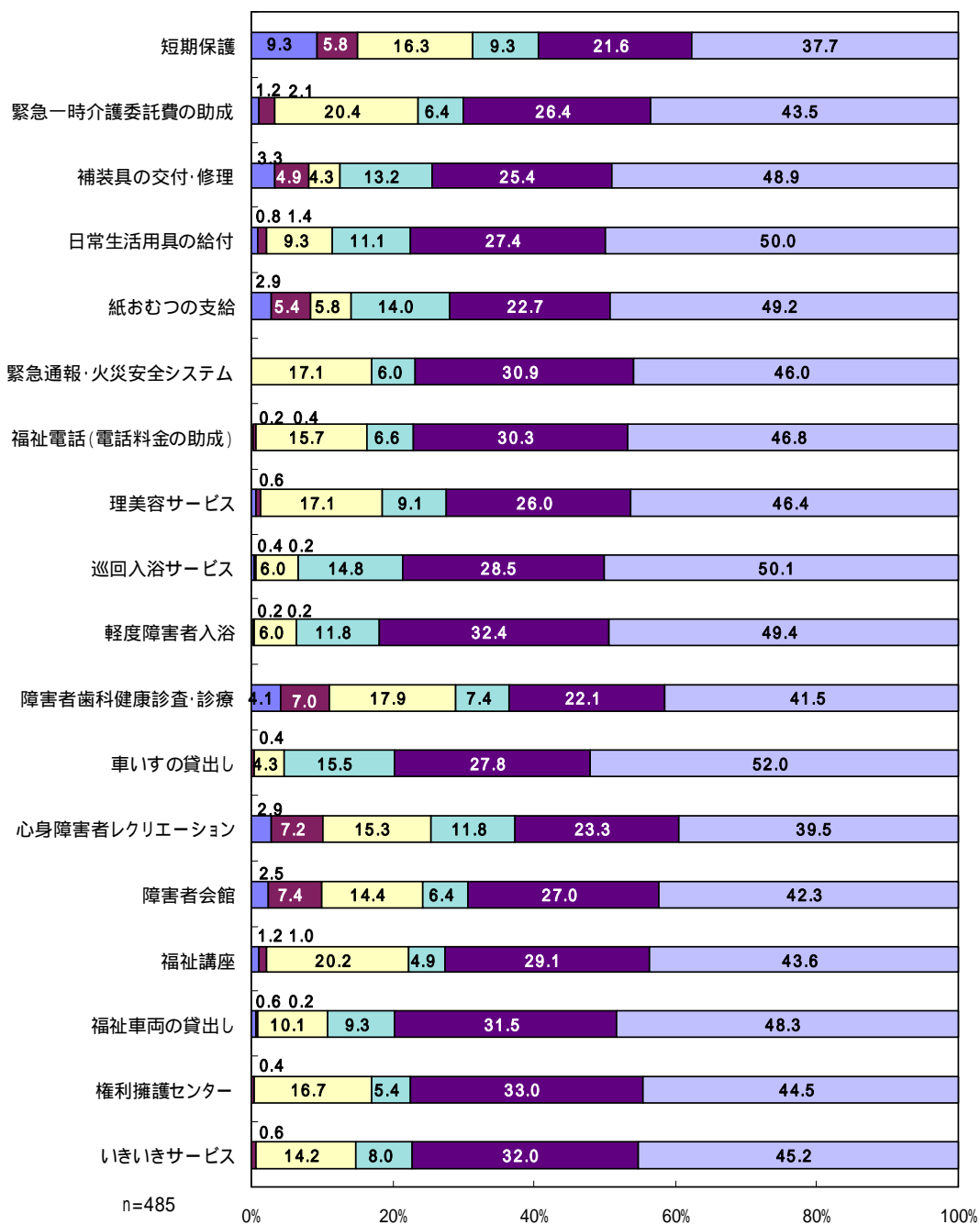
■ 現在利用している ■ 制度は知っているが、利用したことがない □ 制度を知らない □ 利用の対象でない ■ 無回答



障害者福祉サービスの利用状況を見ると、「利用の対象ではない」とする回答が多く見られた。利用しているサービスの中では「短期保護」が15.1%で一番利用率が高く、「障害者歯科健康診査・診療」、「心身障害者レクリエーション」、「障害者会館」、「紙おむつの支給」が約1割となっている。

利用意向

■ 今まで以上に利用したい ■ 今までどおり利用したい □ 今後利用したいと思う □ 利用したいと思わない ■ わからない □ 無回答

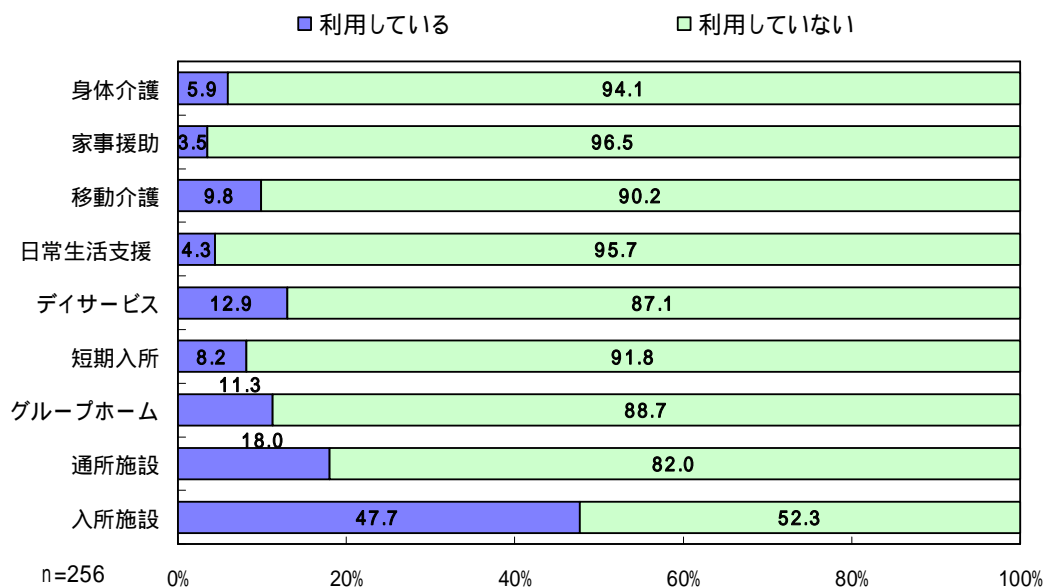


今後の障害者福祉サービスの利用意向では、「今後利用したい」とする回答では、「緊急一時介護委託費の助成」、「福祉講座」が20%以上で、「障害者歯科健康診査・診療」、「緊急通報・火災安全システム」、「理美容サービス」が各々17%を超えている。一方、「わからない」とする回答も多くみられた。

支援費について

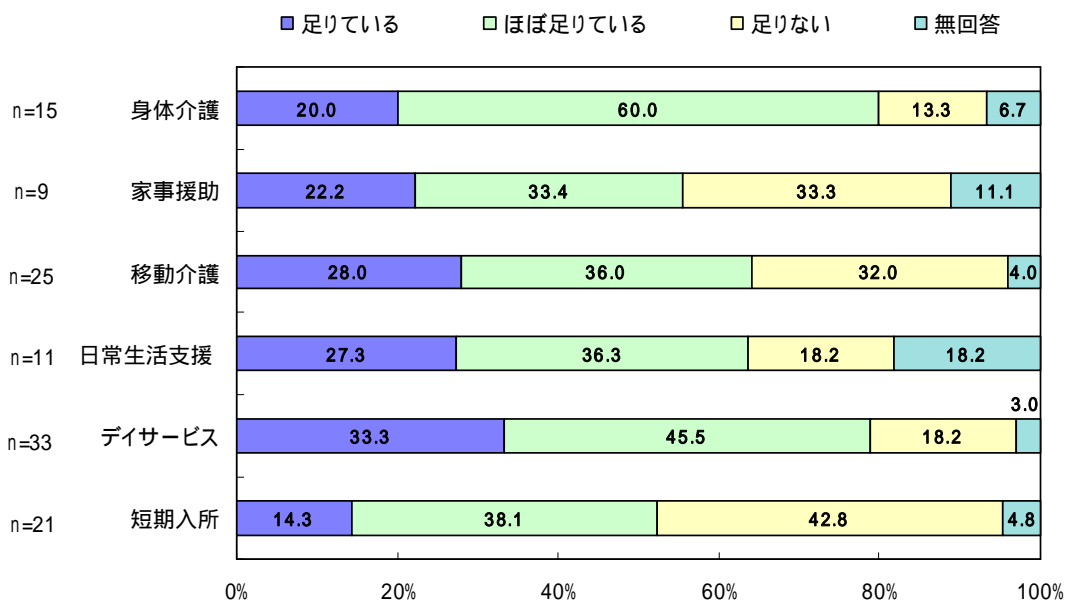
支援費利用者の利用状況 / サービス量 / 満足度 / 利用意向

【利用状況】



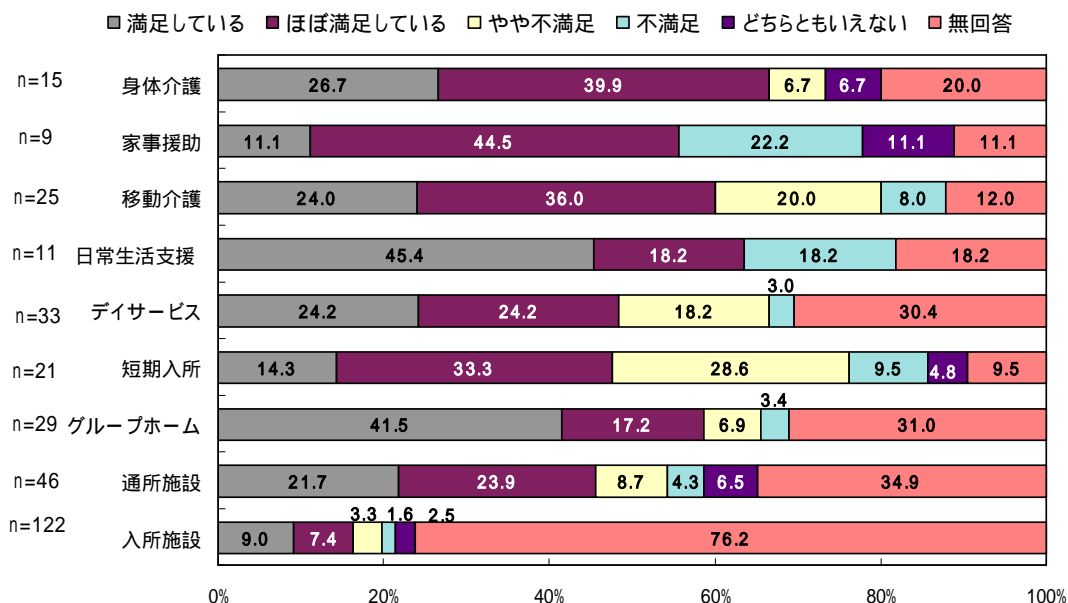
支援費利用者の利用状況は、「利用していない」とする回答が8割以上であるが、「入所施設」については約半数が「利用している」との回答であった。

【サービス量】



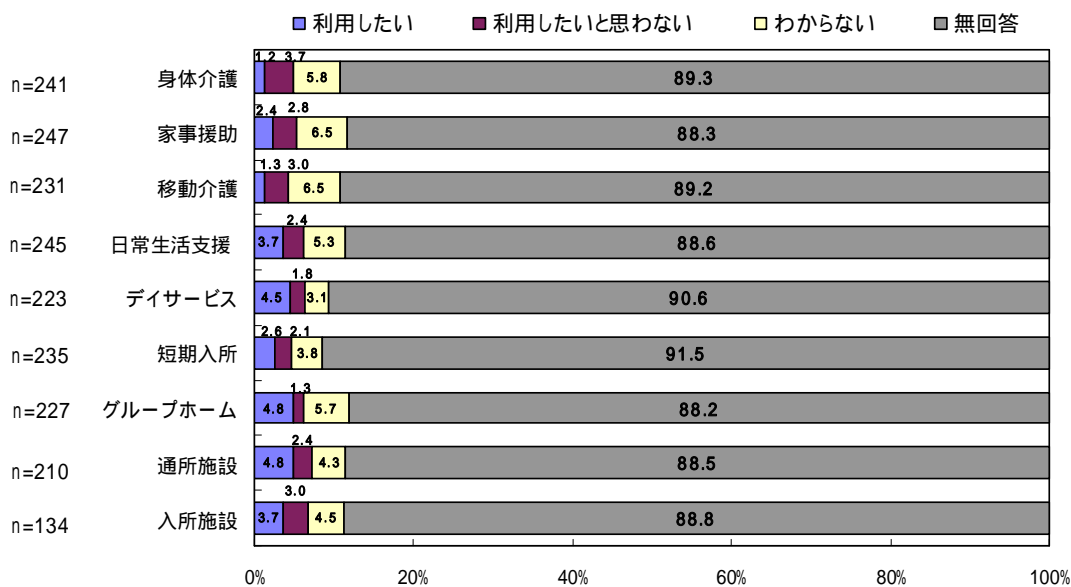
サービス量については、「身体介護」、「デイサービス」では「足りている」、「ほぼ足りている」を合わせると8割が足りていると回答している。また、「移動介護」、「日常生活支援」、「家事援助」についても同様に6割が足りているとしている。

【満足度】



サービスの満足度は、全体的に「満足している」、「ほぼ満足している」との回答が多く見られた。特に「身体介護」では「満足している」、「ほぼ満足している」が約7割となっており、次いで「日常生活支援」、「移動介護」、「グループホーム」、「家事援助」の順となっている。一方、「短期入所」は「やや不満足」の割合が3割であった。

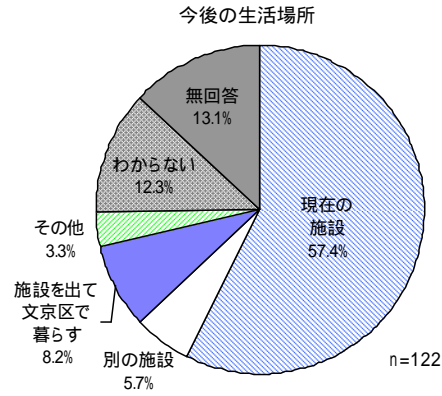
【利用意向】



利用意向については、各サービスとも約9割の人が無回答であった。

入所者の今後の生活場所について

今後の生活場所については、「現在の施設」とする回答が 57.4%と半数以上であった。



	全体 (人)	施設で生活したい理由										複数回答 (%)	
		十分な在宅サービスがないため	今の在宅サービスでは、自立生活ができないため	周囲の理解が得られないため	家族の理解が得られないため	住環境が悪く、自宅で生活できないため	同居者に遠慮があるため	経済的に難しいため	退所後の援助者がいないため	健康面などで不安なため	その他	無回答	
合計	77	23.4	22.1	15.6	10.4	18.2	7.8	9.1	36.4	35.1	22.1	11.7	
年齢別	0～9歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	10～19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20～29歳	6	33.3	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7	33.3	
	30～39歳	21	19.0	9.5	28.6	9.5	9.5	4.8	14.3	38.1	42.9	23.8	
	40～49歳	12	8.3	0.0	8.3	8.3	25.0	0.0	0.0	33.3	50.0	8.3	
	50～59歳	19	31.6	42.1	10.5	5.3	21.1	0.0	0.0	36.8	21.1	21.1	
	60～69歳	11	27.3	27.3	18.2	18.2	27.3	36.4	27.3	36.4	36.4	36.4	
	70～79歳	4	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	50.0	0.0	
	80歳以上	1	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
無回答	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0		

施設入所者の今後の生活場所について、施設で生活したい理由を年齢別でみると 19歳以下では「経済的に難しい」と回答し、20歳代では「今の在宅サービスでは自立生活ができないため」が最も多く、次いで「十分な在宅サービスがないため」、「退所後の援助者がいないため」が多い。30歳代以上では、上記理由に加えて「健康面などで不安なため」があげられている。

	全体 (人)	施設で生活したい理由										複数回答 (%)	
		十分な在宅サービスがないため	今の在宅サービスでは、自立生活ができないため	周囲の理解が得られないため	家族の理解が得られないため	住環境が悪く、自宅で生活できないため	同居者に遠慮があるため	経済的に難しいため	退所後の援助者がいないため	健康面などで不安なため	その他	無回答	
合計	77	23.4	22.1	15.6	10.4	18.2	7.8	9.1	36.4	35.1	22.1	11.7	
入所施設	知的障害者更生施設	51	27.5	25.5	17.6	7.8	19.6	9.8	11.8	45.1	35.3	21.6	
	知的障害者授産施設	8	0.0	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	37.5	12.5	
	身体障害者施設	4	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	
	その他	12	25.0	16.7	8.3	25.0	25.0	8.3	8.3	8.3	50.0	25.0	
	無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	

施設で生活したい理由について、入所施設別でみると、「知的障害者更生施設」、「知的障害者授産施設」の入所者は「退所後の援助者がいない」、「健康面などで不安なため」との回答が多い。「身体障害者施設」の入所者は、「十分な在宅サービスがないため」、「今の在宅サービスでは自立生活ができないため」、「住環境が悪く、自宅で生活できないため」、「退所後の援助者がいないため」が同じ割合であげられ、「健康面などで不安なため」はあがっていない。

	全体 (人)	退所後の生活したい場所 (%)				
		自宅に帰って生活したい	賃貸の住宅で一人で生活したい	グループホームなどで共同生活したい	その他	
合計	10	50.0	10.0	30.0	10.0	
年齢別	0～9歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	40～49歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	50～59歳	6	66.6	0.0	16.7	16.7
	60～69歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70～79歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	

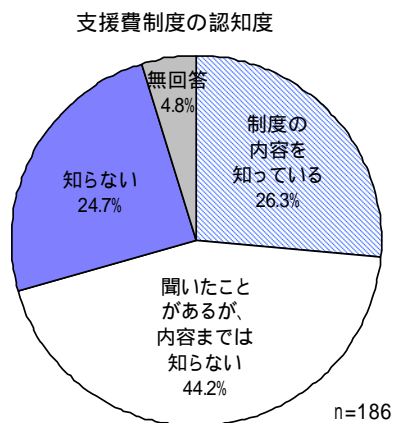
退所後の生活したい区内の場所を年齢別にみると、10歳代では「自宅に帰って生活したい」があげられ、30歳代では「賃貸の住宅で一人で生活したい」、40歳代では「グループホームなどで共同生活をしたい」となっている。50歳代は「自宅に帰って生活したい」が6割を超えている。

	全体 (人)	退所後の生活したい場所 (%)				
		自宅に帰って生活したい	賃貸の住宅で一人で生活したい	グループホームなどで共同生活したい	その他	
合計	10	50.0	10.0	30.0	10.0	
入所施設	知的障害者更生施設	10	50.0	10.0	30.0	10.0
	知的障害者授産施設	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	身体障害者施設	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0

退所後の生活したい区内の場所を入所施設別でみると、「知的障害者更生施設」の入所者は「自宅に帰って生活したい」が最も多く、次に「グループホームなどで共同生活したい」となっている。

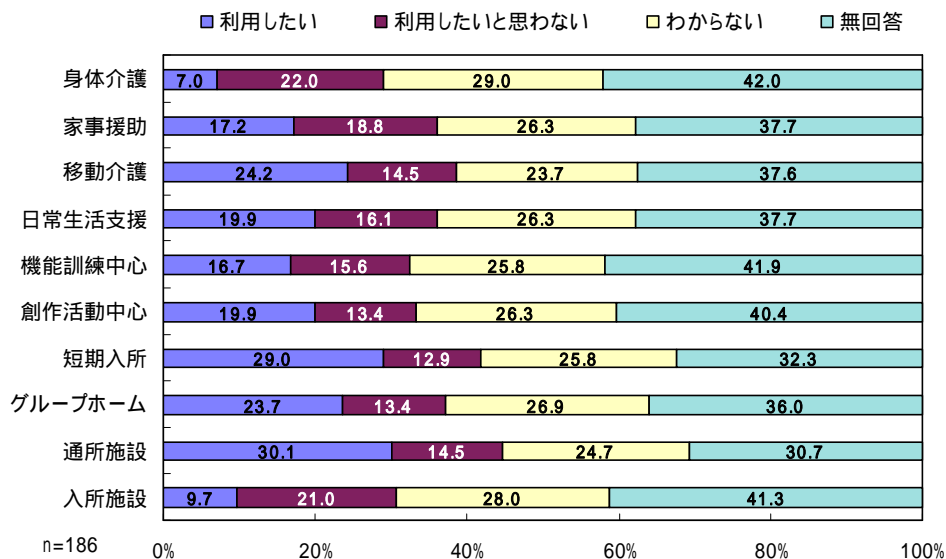
支援費未利用者の認知度 / 利用意向 / 利用したくない理由

【認知度】



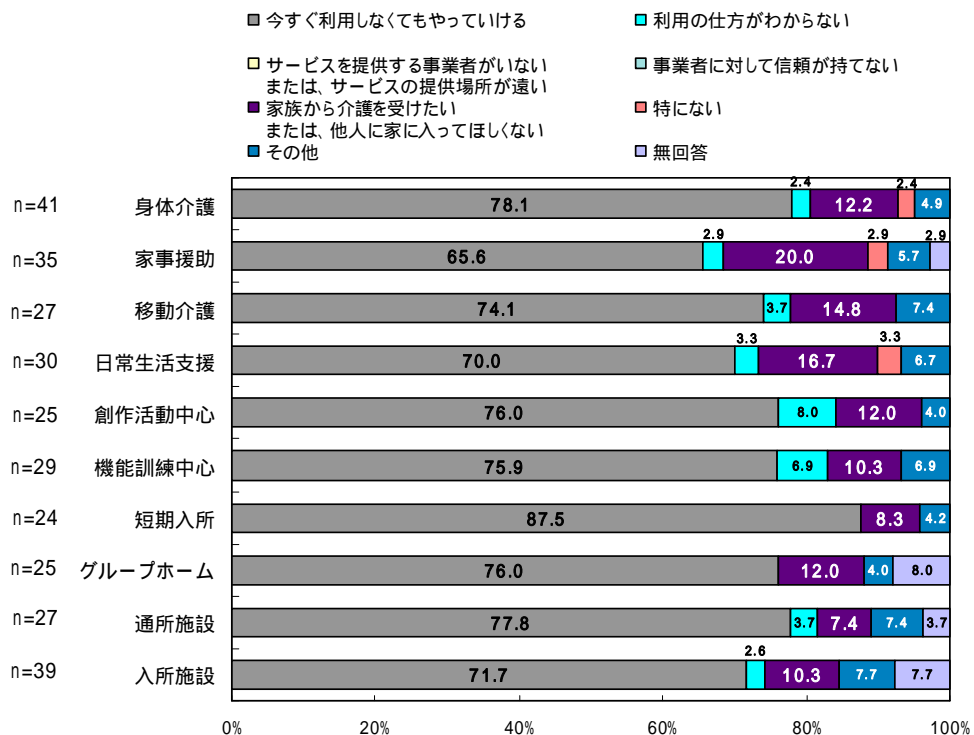
支援費制度未利用者（自宅生活者）に支援費制度についてきいてみると、「聞いたことはあるが内容までは知らない」が44.2%、「制度の内容を知っている」は26.3%、「知らない」は約25%であった。

【利用意向】



支援費制度の利用意向では、「通所施設」、「短期入所」がそれぞれ約30%、次いで「移動介護」、「グループホーム」があげられ、「入所施設」、「身体介護」は10%以下となっている。

【利用したくない理由】



支援費制度を利用したいと思わないと回答した人の理由では、全てのサービスについて「今すぐ利用しなくてもやっていける」が6割以上の回答となっている。

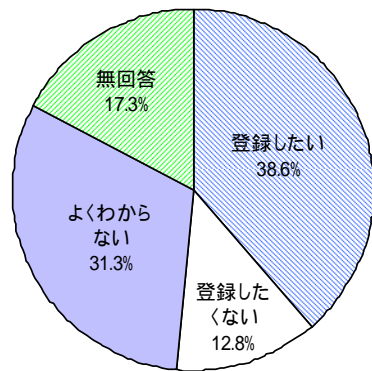
災害対策・情報提供について 不安に感じること

	全体 (人)	災害に対する不安感								複数回答 (%)		
		災害の状況がわからない	災害の発生などを消防署や周囲の人へ連絡できない	初期消火ができない	自力で避難できない	医療機器の使用や服薬ができない	避難所等におけるトイレの利用に不安を感じる	その他	特になし	わからない	無回答	
合計	467	41.8	36.4	39.8	43.7	20.1	28.7	5.8	8.4	11.3	13.9	
障害の程度	1度	15	40.0	20.0	33.3	60.0	26.7	26.7	0.0	0.0	13.3	20.0
	2度	148	47.3	41.9	40.5	58.1	30.4	41.9	10.1	1.4	12.8	10.8
	3度	159	45.3	40.3	44.0	44.0	16.4	22.0	6.3	7.5	10.1	13.2
	4度	133	30.8	27.1	34.6	25.6	12.8	21.1	0.8	18.8	10.5	18.0
	無回答	12	50.0	41.7	41.7	41.7	16.7	41.7	8.3	0.0	16.7	8.3

災害に対して不安に感じることを障害の程度でみると、障害1度では「自力で非難できない」が最も多い。2度では、「自力で非難できない」、「災害の状況がわからない」、「災害の発生などを消防署や周囲の人へ連絡できない」、「避難所等におけるトイレの利用に不安を感じる」があげられている。3度、4度では「初期消火ができない」があげられている。

登録制度について

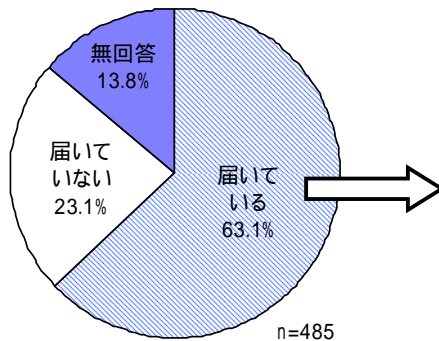
災害に備えた登録制度について



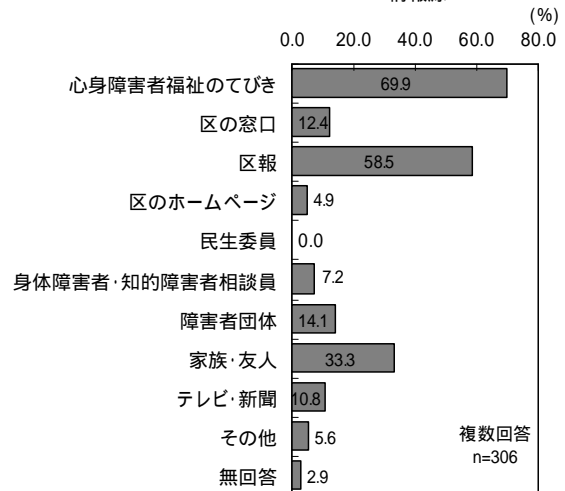
災害に備えた登録制度については、「登録したい」が約4割、「登録したくない」が約3割、「よくわからない」が約3割であった。

区政情報の伝達と情報源

区からの情報が届いているかどうか



情報源



区からの情報については、「届いている」が6割を超えており、「届いていない」が約2割であった。

また、その情報源については、「心身障害者福祉の手引き」が最も多く、次いで「区報」、「家族・友人」となっている。

要望事項について

区政への要望

	全体 (人)	充実を希望する施策、要望														複数回答 (%)			
		障害者のための住宅施策	介護サービス	医療費の軽減・医療制度の充実	スポーツ・レクリエーション・文化活動	地域の人の交流の促進	機能回復訓練のための事業	緊急一時保護事業	施設の整備	就労支援や職業訓練	各種相談事業	情報提供	障害者に配慮した道路・交通機関等の整備	障害者に対する理解へのPR	ボランティアの育成・支援	障害者に配慮した防犯・防災対策の推進	グループホームの誘致	無回答	
合計	485	26.2	27.6	46.0	20.8	9.1	6.8	28.0	15.1	27.0	13.4	20.8	9.7	27.2	23.3	19.4	28.7	16.9	
居住形態	あなたの持ち家	20	20.0	20.0	30.0	20.0	5.0	5.0	20.0	5.0	25.0	15.0	15.0	5.0	30.0	25.0	25.0	10.0	35.0
	家族の持ち家	207	22.7	33.8	47.8	25.1	8.2	9.2	41.1	15.9	35.3	16.4	26.6	8.7	32.4	27.5	21.7	31.4	9.7
	民間賃貸住宅	58	36.2	24.1	43.1	34.5	13.8	1.7	32.8	5.2	43.1	15.5	31.0	3.4	20.7	29.3	17.2	37.9	8.6
	社宅等賃貸住宅	13	23.1	38.5	61.5	46.2	23.1	7.7	38.5	7.7	38.5	0.0	30.8	0.0	30.8	23.1	15.4	30.8	7.7
	都営・公団等公営住宅	23	34.8	13.0	43.5	13.0	4.3	8.7	39.1	17.4	17.4	8.7	8.7	17.4	26.1	17.4	34.8	13.0	21.7
	グループホーム	30	26.7	10.0	50.0	20.0	16.7	6.7	6.7	6.7	30.0	16.7	13.3	23.3	33.3	26.7	23.3	66.7	20.0
	入所施設	113	24.8	27.4	46.9	7.1	8.0	5.3	8.0	24.8	7.1	8.8	10.6	11.5	21.2	15.9	13.3	18.6	26.5
	その他	14	42.9	21.4	42.9	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	7.1	14.3	14.3	7.1	14.3	7.1	0.0	7.1	28.6
無回答	7	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	28.6	14.3	57.1	
合計	467	26.6	27.6	46.3	21.4	9.4	6.4	28.5	15.2	27.2	13.1	20.8	9.9	27.4	23.1	19.7	29.1	16.9	
障害の程度	1度	15	6.7	26.7	53.3	6.7	6.7	26.7	20.0	6.7	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	26.7	6.7	20.0	
	2度	148	25.7	40.5	50.0	18.9	6.1	6.1	45.3	27.0	14.9	9.5	20.3	10.8	28.4	23.6	20.9	30.4	14.9
	3度	159	22.6	26.4	44.7	20.8	14.5	6.3	24.5	8.8	32.7	8.8	20.8	7.5	27.0	25.2	19.5	28.9	18.9
	4度	133	34.6	15.0	41.4	26.3	7.5	6.8	15.8	9.0	36.1	21.8	22.6	6.8	27.8	20.3	18.0	29.3	17.3
	無回答	12	25.0	25.0	66.7	25.0	8.3	8.3	16.7	16.7	33.3	33.3	8.3	50.0	25.0	25.0	16.7	41.7	8.3
合計	485	26.2	27.6	46.0	20.8	9.1	6.8	28.0	15.1	27.0	13.4	20.8	9.7	27.2	23.3	19.4	28.7	16.9	
障害が発生した年齢	0歳	213	30.0	36.6	51.2	22.5	9.9	5.6	32.4	16.4	26.8	12.2	20.2	11.7	26.3	23.0	20.2	33.8	13.6
	1～4歳	163	26.4	28.8	46.6	21.5	8.6	8.0	34.4	17.2	31.9	13.5	27.6	6.1	31.3	28.2	22.1	27.0	10.4
	5～9歳	28	25.0	7.1	28.6	21.4	10.7	7.1	17.9	14.3	28.6	17.9	14.3	7.1	32.1	25.0	17.9	14.3	25.0
	10～19歳	24	20.8	4.2	50.0	16.7	12.5	16.7	4.2	8.3	33.3	20.8	16.7	8.3	25.0	16.7	16.7	33.3	16.7
	20～39歳	9	22.2	0.0	55.6	0.0	0.0	11.1	22.2	11.1	44.4	22.2	11.1	0.0	44.4	22.2	22.2	22.2	11.1
	40～59歳	8	25.0	25.0	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	62.5
	60～64歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	66～69歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	38	7.9	10.5	34.2	18.4	5.3	2.6	5.3	7.9	5.3	10.5	10.5	18.4	13.2	13.2	7.9	23.7	47.4	

区政への要望については、「医療費の軽減・医療制度の充実」が最も多く、次いで「グループホームの誘致」、「緊急一時保護事業」の順であった。

障害程度別でも、「医療費の軽減・医療制度の充実」が最も多い回答であった。

また、障害が発生した年齢では「医療費の軽減・医療制度の充実」の割合が高かった。